

平成27年度

教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書

平成28年8月

坂戸市教育委員会

目 次

| | | |
|----------------------|-------|----|
| ◆ 点検及び評価の趣旨等 | ----- | 1 |
| 1 点検及び評価の趣旨 | ----- | 1 |
| 2 点検及び評価の対象等 | ----- | 1 |
| 3 点検及び評価の方法 | ----- | 1 |
| 4 点検及び評価の構成 | ----- | 1 |
| ◆ 平成27年度分対象事業の点検及び評価 | ----- | 3 |
| 基本計画 スポーツ・レクリエーション | ----- | 3 |
| 基本計画 社会教育 | ----- | 6 |
| 基本計画 青少年の健全育成 | ----- | 9 |
| 基本計画 学校教育 | ----- | 10 |
| 基本計画 文化の振興・保護 | ----- | 14 |
| 教育委員会会議等の状況 | ----- | 16 |
| ◆ 結びに | ----- | 22 |

◆ 点検及び評価の趣旨等

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育委員会は、毎年、学識経験を有する者の知見を活用して、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

本市教育委員会は、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価を実施し、毎年その結果を報告書にまとめています。

2 点検及び評価の対象等

本市では、平成21年4月の組織改正により、スポーツ（学校における体育に関することを除く。）、青少年の健全育成（青少年教育に関することを除く。）及び文化（文化財の保護に関することを除く。）に関する事務事業が市長部局へ移管されましたが、平成27年4月の組織改正により、市長部局に移管していたスポーツ及び青少年の健全育成に関する事務事業が教育委員会の所管となりました。

また、教育委員会の事務事業は、本市の第6次坂戸市総合振興計画の平成24年度から平成33年度までの10年間を計画期間として策定されています。

教育委員会の事務事業に係る点検及び評価の対象事業については、第6次坂戸市総合振興計画の「スポーツ・レクリエーション」、「社会教育」、「青少年の健全育成」、「学校教育」及び「文化の振興・保護」に関し、教育委員会が所管する事務事業を対象とし、新規事業、重点的に取り組んだ事業及び数年周期のローテーションにより順次点検している事業の中から事務事業を選定し、点検及び評価を行いました。また、教育委員会会議の開催状況の一覧表等を作成しました。

3 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の客観性を確保するため、外部評価委員として教育に関し学識経験を有する外部の方を委嘱し、その知見を活用しました。

(2) まず、点検及び評価に当たっては、平成27年度の19事務事業について目的、実施状況、成果等について自己評価を行い、事務事業評価シートを作成しました。

次に、各課長等から外部評価委員に、事務事業評価シートに基づき説明等を行い、その後、外部評価委員から、事務事業に対する意見等の報告書をいただきました。

4 点検及び評価の構成

(1) 基本計画

第6次坂戸市総合振興計画の「スポーツ・レクリエーション」、「社会教育」、「青少年の健全育成」、「学校教育」及び「文化の振興・保護」に分類しました。

(2) 施策の方針

基本計画の施策の方針を掲載しています。

(3) 平成27年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

平成27年度に実施した主な事務事業の目標、実績、評価等を掲載しています。

ア 指標に対する達成度

個々の事務事業に対して指標を設定し、平成27年度の目標とその実績としての達成率等を掲載しています。

イ 自己評価

次の表の各項目別の評価を掲載しています。

- | |
|---|
| <p>○必要性・・・「高い」：「検討の余地有」：「低い」 （・市民ニーズに対応しているか。・行政関与の必要性はあるか。）</p> <p>○有効性・・・「高い」：「高める余地有」：「低い」 （・目的とした効果はあるか。）</p> <p>○効率性・・・「効率的である」：「高める余地有」：「効率的ではない」 （・コスト面・業務面等効率的に執行されているか。・民間委託や他事業の統合・連携が可能か。）</p> <p>○目標達成度・・・「十分できている」：「できている（一部できているを含む。）」：「できていない」 （・当該年度の事業が計画どおりに達成できたか。）</p> <p>○方向性・・・「見直し（改善・効率化、縮小、統合、拡充）」：「継続」：「終了」：「休止」：「廃止」</p> |
|---|

ウ 外部評価委員からの主な意見

外部評価委員の方々からいただいた御意見について、事業ごとに掲載しています。

御意見をいただいた外部評価委員は、次のとおりです。（敬称略）

○渡 邊 庸 久 （元毛呂山町教育委員会教育長）

○志 賀 康 子 （坂戸市子ども会育成会連絡協議会会長）

◆ 平成27年度分対象事業の点検及び評価

基本計画 スポーツ・レクリエーション

施策の方針

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の充実・支援
 スポーツ教室・大会等を充実し、スポーツ・レクリエーション団体及び指導者を育成するとともに、施設や団体等の情報提供体制を整備します。
- 2 生涯スポーツの振興
 生涯スポーツ社会の実現に向け、総合型地域スポーツクラブの設立・支援をしていくとともに、スポーツ・レクリエーションを通じた地域づくりを推進します。
- 3 施設の整備・充実
 市民総合運動公園等の社会体育施設の整備・充実はもとより、学校・公民館等の体育施設の有効活用、また、障害者にやさしい施設の整備・充実ならびに効率的な利用を促進します。
 ※ 平成27年4月の組織改正により、健康増進施設（サンテ坂戸）は、市長部局から移管されたスポーツに関する事務事業として、「スポーツ・レクリエーション」に組み込みました。

平成27年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 スポーツ・レクリエーション活動の充実・支援

| | | | | | |
|-----------|---|-----|---------------|-------|---------|
| 事業名 | 坂戸市民チャリティマラソン実施事業 | | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | 健康・体力づくりと誰でも気軽に参加できる親しみのある大会として、市と実行委員会で委託契約を締結し、5種目24部門、11月第3日曜日に実施しています。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | 27年度実績 | | |
| 参加者数 | 2,180人 | | 2,450人 | | |
| 指標に対する達成度 | ・参加者数：112% | | 目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | できている | 継続 |
| 外部評価 | 【評価、意見等】市民のスポーツ意識の高揚と健康増進に寄与するとともに、誰でも気軽に参加できる市民マラソン大会として、継続していく必要があります。 【外部評価委員からの主な意見】マラソンは、健康スポーツとして小学生から高齢者まで多くの人に愛され、人気のあるスポーツです。今後とも、各方面からの意見を積極的に取り入れながら、更に参加者が増えるよう、企画運営に努力してほしいと思います。 既に15回が過ぎ、市内外からの参加者を迎え、広い世代に親しまれる大会となりました。有識者や団体代表者による実行委員会による自主企画運営は良いと思います。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|-----|--------|---------------|---------|
| 事業名 | 各種スポーツ大会出場費補助事業 | | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | 本市スポーツ振興のため、市内に在住、在勤、在学する者で、埼玉県予選会等を経て全国大会等に出場する選手等に対して、補助を行います。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 申請件数 | 55件 | | | 57件 | |
| 指標に対する達成度 | ・申請件数：104% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 十分できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】各種スポーツ大会への参加を促し、市民の体力向上に寄与しているため、継続して実施していく必要があると考えます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】関東大会、全国大会等へ参加する人達に経費の一部を補助することは、参加する人達の経済的負担を軽減するとともに、各種大会への参加が促進されることとなります。また、それらの種目の技術の向上、市民のスポーツ活動への参加意欲の向上が図られ、有効と考えます。 | | | | |
| | 選手及び関係者の経済的負担を軽減することは、市としての応援とも言え、一層励みになり、市の代表としての頑張りにつながります。また、各種スポーツ大会への参加促進につながれば、スポーツによる健康意識の向上にもなると考えます。 | | | | |

2 施設の整備・充実

| | | | | | |
|-----------|---|-----|--------|---------------|---------|
| 事業名 | 健康増進施設管理事業 | | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | 温水プール、アリーナ、トレーニング室、スタジオ等を活用した健康づくり教室を実施しています。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 教室実施回数 | 210回 | | | 232回 | |
| 施設利用者数 | 101,000人 | | | 109,259人 | |
| 指標に対する達成度 | ・教室実施回数：110% ・施設利用者数：108% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | 十分できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】健康増進に対する需要はますます高く、より重要度が増すものと考えられます。今後、指定管理者制度導入を検討する必要があります。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】市民の自主的な健康づくりを支援し、その健康増進の機会と場所を提供することは行政の重要な責務と考えます。利用する市民が更に増加するようPRの方法及び内容の工夫及び充実を望みます。 | | | | |
| | 超高齢化社会に向けて、市民一人ひとりが健康管理を自覚し、生活することを啓発し、機会と場所を提供することは必要と考えます。 運営方法について、今後、指定管理者制度の導入は検討に値すると考えます。幅広い分野での健康づくり教室が開催されることを望みます。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|-----|--------|--------------|---------|
| 事業名 | 運動公園施設管理事業 | | | 所管 | スポーツ推進課 |
| 事業内容 | 運動公園の利用者がいつでも安全・快適に利用できるように施設の整備を行います。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 改修工事 | 2か所 | | | 2か所 | |
| 利用者数 | 150,000人 | | | 148,442人 | |
| 指標に対する達成度 | ・改修工事：100% ・利用者数：99% | | | おおむね達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】グラウンド整備や老朽化した施設の計画的な改修により、利用者が安全に快適に利用できるよう努めます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】市民の健康増進を図り、市民が健康な生活を楽しむことができるよう、市の管轄する運動公園等施設の整備の充実を図ることは重要です。市民が安全で快適に利用できるよう、今後も努めていただきたいと思います。 老若男女、スポーツへの関心が高まっているように思います。そのためにも、市内での施設の充実は市民の願いです。現存する運動公園の整備、改修を行いつつ、安全で快適な施設の充実をお願いします。 | | | | |

基本計画 社会教育

施策の方針

1 生涯学習社会の構築

市民自ら適切な学習機会を選択し、自主的な学習ができるよう、学習情報の収集・提供及び学習相談体制の整備を図り、学習成果をいかしたまちづくりを推進します。

2 社会教育の充実

社会教育施設の整備・充実を図るとともに、学校教育との連携を強化し、学びの機会を拡充します。

3 公民館の充実

市民の学習ニーズに即した公民館事業を推進するとともに、クラブ、サークル等の支援・育成を行います。

4 図書館の充実

社会の様々な変化に伴い高度化、多様化する市民の学習要求に適切に対応するための図書館として充実を図ります。

平成27年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 社会教育の充実

| 事業名 | 人権教育推進事業 | | | 所管 | 社会教育課 | |
|-----------|---|-----|--------|--------------|-------|--|
| 事業内容 | 人権教育に関わる指導者等の資質の向上と市民の人権意識の向上を図ることを目的に、公民館等人権講座、研修会への派遣、集会所事業、人権教育指導者研修会等を行っています。 | | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | | |
| 人権講座開催回数 | 31回 | | | 31回 | | |
| 人権講座参加者数 | 1,400人 | | | 1,372人 | | |
| 指標に対する達成度 | ・人権講座開催回数：100% ・人権講座参加者数：98% | | | おおむね達成できました。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 | |
| 外部評価 | <p>【評価、意見等】 地域の実情に応じた人権教育研修会を開催するために、研修の方法・内容の設定等を工夫し、事業を推進します。</p> <p>【外部評価委員からの主な意見】 多様な人権感覚を身に付け、人権問題を正しく理解し、人権意識の高揚と差別解消を図るためには、継続的な研修、啓発は行政の重要な責務と考えます。</p> <p>市民一人ひとりの人権意識の高揚と差別解消のためには、数多くの学習の機会が必要と思われれます。正しい人権教育を幼少期から繰り返し実践することが大切です。指導者等の資質の向上をお願いします。10年振りの意識調査を有効に活用し、今後も継続してください。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|-----|--------|---------------|-------|
| 事業名 | 公民館施設整備事業 | | | 所管 | 中央公民館 |
| 事業内容 | 勝呂公民館及び大家公民館へ太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、災害時における体制を強化しました。また、北坂戸公民館の老朽化した空調設備を改修し、施設利用環境を向上しました。そのほか、大家公民館へ物置を設置しました。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 工事 | 4か所 | | | 4か所 | |
| 指標に対する達成度 | ・工事：100% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】太陽光発電は、再生可能エネルギーであり、環境改善と経費の節減となります。また、現在の空調設備は、省エネルギー化が図られています。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】地域の防災拠点である公民館は老朽化が進んでおり、早急に耐震補強工事を完了するとともに、計画的に施設の改修を行う必要があると考えます。 公民館の維持管理は、老朽化に伴い大変なことと思いますが、公民館は災害時の防災拠点であり、地域の核となる施設です。早期に改修等改善を求めます。比較的新しい公民館の太陽光発電の取組は、コスト面、災害時の体制、二酸化炭素削減などを考慮し、効果的と思われます。 | | | | |

2 公民館の充実

| | | | | | |
|-----------|---|-----|--------|---------------|-------|
| 事業名 | 各種教室・講座等開催事業 | | | 所管 | 中央公民館 |
| 事業内容 | 各種教室・講座等を通して、実際生活に即した教養の向上、健康の増進、生活文化の向上等を図ることを目的として実施しています。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 教室・講座開催数 | 82講座 | | | 82講座 | |
| 指標に対する達成度 | ・教室・講座開催数：100% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】公民館は、地域住民にとって最も身近な学びの拠点であり、事業効果を念頭に置きつつ、地域の拠点としての公民館活動の充実を図っていきます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】公民館は、地域住民にとって最も身近な学びの場であり、市民の教養の向上、健康の増進、生活文化の向上を図るため、利用者のニーズを的確に把握して、公民館活動が更に充実することを期待します。 生涯学習の拠点として、地区内の公民館非常勤職員の意見を尊重し、地区住民の視点に立ったニーズに即した事業を、今後も展開していただきたいです。 | | | | |

3 図書館の充実

| | | | | | |
|--------------|--|-----|--------|---------------|-----|
| 事業名 | 図書館電算システム整備事業 | | | 所管 | 図書館 |
| 事業内容 | 電算システムの整備により、インターネットを利用した情報提供、図書資料の検索・予約等に対応し、利用者の利便性を拡大するとともに、館内にインターネット端末を設置し、利用者の多様な学習及び調査研究活動の支援を行っています。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 図書館資料貸出サービス | 480,000冊点 | | | 492,882冊点 | |
| 人口一人当たり貸出冊点数 | 4.73冊点 | | | 4.86冊点 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料貸出サービス：103% ・人口一人当たり貸出冊点数：103% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 高める余地有 | 十分できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】引き続きシステムの効果的な管理運用を行っていきます。また、平成29年度のシステム更改に向けて、更なる効率化、セキュリティ対策を検討していきます。 | | | | |
| 外部評価 | <p>【外部評価委員からの主な意見】情報化社会に対応したサービスの充実、スピーディーで的確な図書館業務の実施のためにも電算システムの整備は必要と考えます。セキュリティ対策にも十分留意して活用してください。</p> <p>市民ニーズにスムーズに応えるシステム運用は、必要不可欠なサービスであると思われます。また、学校図書館との連動は効率的であり、事務負担の軽減になればよいと思います。システムの効果的な管理運用は正しいデータにより、課題解決も容易になると考えます。今後、更なる効率化をお願いします。</p> | | | | |

| | | | | | |
|------------|--|-----|--------|--------------|-----|
| 事業名 | 図書館ボランティア推進事業 | | | 所管 | 図書館 |
| 事業内容 | 図書館ボランティア活動が、市民の学習成果を活用する場であるとともに、図書館サービスの充実に資するものであるため、ボランティア養成講座や研修を実施しています。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| ボランティア登録者数 | 93人 | | | 93人 | |
| ボランティア活動回数 | 450回 | | | 427回 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者数：100% ・ボランティア活動回数：95% | | | おおむね達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】図書館ボランティア活動の充実が図書館サービスの充実となるよう、今後も計画的に実施していく必要があります。また、障害者サービスボランティアにおいては、高い専門性が必要であり、養成・育成が不可欠です。 | | | | |
| 外部評価 | <p>【外部評価委員からの主な意見】障害者サービス、高齢者サービス等ボランティアの協力を得て、その充実が図られています。</p> <p>図書館ボランティアによる事業は好評であり、会員の生きがいともなり、活発に展開されているようです。今後も研修会等の機会を作り、ボランティアを養成・育成していただくことを望みます。</p> | | | | |

基本計画 青少年の健全育成

施策の方針

- 1 健全育成活動の充実
健全育成体制を充実させ、市民と協働して地域環境づくりを推進します。
- 2 健全な家庭づくりの推進
健全な家庭づくりを推進するための啓発活動を行います。
- 3 青少年活動の充実
青少年活動の充実を図り、青少年の地域活動への参加を促進します。

平成27年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 健全育成活動の充実

| 事業名 | 青少年地域ふれあい事業 | | | 所管 | 社会教育課 |
|-----------|--|-----|---------------|---------|-------|
| 事業内容 | 子ども達の居場所づくりを目的に、地域の方々の参画を得て、伝承遊びやスポーツ・文化活動等を行う「放課後げんき教室」を三芳野小学校、勝呂小学校及び片柳小学校で実施しています。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | 27年度実績 | | |
| 開催回数 | 93回 | | 93回 | | |
| 参加児童数 | 6,000人 | | 6,446人 | | |
| 指標に対する達成度 | ・開催回数：100% ・参加児童数：107% | | 目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | 十分できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】今後も引き続き各学校のサポーターズクラブと連携を取りながら、効率的な事業展開を図っていきます。 また、未実施の小学校についても、検討を進めていきます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】地域の方々の協力及び参画を得て、放課後、子ども達が安心して活動できる場を確保しています。保護者からも支持されており、継続は妥当と考えます。 参加児童や保護者の声は好評とのことですが、他団体（学童保育、子ども会）との協調も考慮していただきたいです。今後は、未実施の小学校でも実施するよう進めてください。 | | | | |

基本計画 学校教育

施策の方針

1 教育内容の充実

「確かな学力」、「健康・体力」、「豊かな人間性」を基盤とする「生きる力」を育む教育を充実します。

2 教育環境の整備

安心して学習、学校生活が送れるよう、より良い教育環境の整備をします。

3 教育の機会均等の確保

教育の機会均等及び有能な人材の育成等に寄与するため、幼稚園、小中学校、高等学校、大学及び専修学校への入学または就学に係る費用等を負担する保護者に援助します。

平成27年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 教育内容の充実

| 事業名 | 学力向上推進事業 | | 所管 | 学校教育課 | |
|------------------|--|-----|--------------------------------------|-------|-----|
| 事業内容 | <p>学習の基本である読解力を向上させるため、小学校5、6年生に国語読解力ドリルを配布しました。</p> <p>家庭学習の推進と定着を図るため、家庭学習ノート及び夏休みドリルを小学校3～6年生に配布しました。</p> <p>家庭学習の重要性の理解を深めるため、保護者及び教職員を対象に家庭学習推進講演会を開催しました。</p> <p>中学生が自己の学力や課題を把握し学習意欲を高めるため、中学校1、2年生は1回、3年生は2回公的テストを実施しました。</p> <p>中学3年生を対象に夏休み集中講座を実施し、個々に応じた学習支援を推進しました。</p> | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | 27年度実績 | | |
| 学力向上推進委員会実施回数 | 5回 | | 5回 | | |
| 埼玉県学力学習状況調査平均正答率 | 小学：国語 69% 算数 65% 中学：国語 68% 算数 53% | | 小学：国語 68% 算数 65% 中学：国語 67% 数学 52% | | |
| 指標に対する達成度 | ・学力向上推進委員会実施回数：100% ・埼玉県学力学習状況調査平均正答率達成度：99% | | おおむね達成できました。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】夏休みドリルについては、平成27年度から小学校3～6年生を対象としましたが、今後効果等を検証していきます。また、教職員研修、知能検査及び標準学力検査を教育研究事業から統合し、総合的に取り組むことで効果があると考えます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】国語読解力ドリルの継続的使用、家庭学習ノートの利用、中学生の公的テストの実施等、組織的継続的に取り組むことで効果を上げていると考えます。今後とも継続的に取り組むことは重要と考えます。 各種の取組が学校と家庭をつなぎ、子どもの学習意欲を高め、そして学力向上となることを願います。また、継続して行うことの大切さを伝えるための保護者、教員への講演会の開催等、保護者自ら関心を持ち、我が子に適正な教材を選び購入していただけるように、ますます啓発していただきたいと思います。 | | | | |

| | | | | | |
|------------|---|-----|--------|--------------|-------|
| 事業名 | 中学生社会体験チャレンジ事業 | | | 所管 | 学校教育課 |
| 事業内容 | 市内中学校1、2年生を対象に事業所等へ派遣し、職場体験や福祉体験活動を3日間行います。この活動の中で様々な体験や多くのふれあいを通じてみずみずしい感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育みます。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 社会体験活動事業所数 | 248か所 | | | 255か所 | |
| 参加生徒数 | 889人 | | | 873人 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会体験活動事業所数：103% ・参加生徒数：98% | | | おおむね達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】学校では経験できない貴重な体験を通して、社会性、自立心を養うことは重要であり、中学生社会体験チャレンジ事業の継続が必要と考えます。 | | | | |
| 外部評価 | <p>【外部評価委員からの主な意見】生徒達が社会性を養い、勤労意欲を高め、職業観を醸成することは非常に意義あることです。各事業所の理解と協力も得られ、今後とも継続的に実施されることが望まれます。</p> <p>生徒の社会性や勤労意欲を養う上で、必要なものであると思います。行政が関与することにより、各事業所・施設の理解も得られ、スムーズな事業になると思います。このような体験活動の機会が増えることを期待します。</p> | | | | |

| | | | | | |
|------------|--|-----|--------|--------------|-------|
| 事業名 | 教育研究事業 | | | 所管 | 学校教育課 |
| 事業内容 | <p>教職員を対象に、各種研修会を実施しました。また、各学校の校内研修等を支援しました。</p> <p>社会科副読本「さかど」改訂編集委員会を組織し、内容を見直し、改訂作業を行いました。</p> <p>教育相談員を配置し、児童生徒や保護者、教職員からの相談を受け、問題解決に向けたアドバイスをしています。</p> | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 委員会・研修会の実施 | 65回 | | | 64回 | |
| 指標に対する達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員会・研修会の実施：98% | | | おおむね達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】教職員研修、知能検査及び標準学力検査については、学力向上推進事業に統合し、総合的に取り組みます。 | | | | |
| | 増加する多様な相談に対応するために、教育相談員の増員と臨床心理士の採用が必要と考えます。 | | | | |
| 外部評価 | <p>【外部評価委員からの主な意見】児童生徒の学力を向上させ、及び保護者や児童生徒からの多様なニーズに対応するためにも、各種研修会の実施は、必要と考えます。</p> <p>ますます厳しくなるであろう教育現場ですが、委員会・研修会の減少傾向が気になります。教育相談員の増員と臨床心理士の配置をお願いします。</p> | | | | |

2 教育環境の整備

| | | | | | |
|------------|---|-----|--------|---------------|-------|
| 事業名 | 小中一貫教育推進事業 | | | 所管 | 学校教育課 |
| 事業内容 | <p>小中一貫教育の充実を図るため、城山小学校を城山中学校の敷地内へ移転し、小学校と中学校が一つの敷地で一体的に教育活動を行う施設一体型小中一貫教育校「城山学園」を平成27年4月に開校しました。</p> <p>また、城山学園へ英語の学習支援を行う非常勤講師を配置し、外国語活動の充実を図りました。</p> | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 英語学習支援員の配置 | 1人 | | | 1人 | |
| 指標に対する達成度 | ・英語学習支援員の配置：100% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| 外部評価 | <p>【評価、意見等】小中一貫教育校「城山学園」については、施設一体型の良さをいかした特色ある教育を推進するとともに、義務教育学校の設置についても研究していきます。また、城山学園の教育実践を検証し、その成果を市内小中学校へ広め、小中連携教育の推進を図っていきたいと考えます。</p> <p>【外部評価委員からの主な意見】小中一貫教育校「城山学園」は、一貫校としての良さを着実に実践し、県内外から高い評価を得ています。中1ギャップの改善、英語の学習支援のための非常勤講師の配置等、更にその充実を期待します。</p> <p>県内外からの注目も高く、保護者からの評価も良いようです。児童、生徒にも豊かな心が育まれ、教師の兼務配置や外国語非常勤講師により、確かな学力という結果も出ているようです。今後も地域の協力を得て、一体感のある学校として他校への参考となるよう継続的事業を望みます。</p> | | | | |

| | | | | | | |
|-----------|---|-----|--------|---------------|-----|-------|
| 事業名 | 給食用食器整備事業 | | | ※新規 | 所管 | 教育総務課 |
| 事業内容 | <p>学校給食で使用しているPEN食器は、導入から10年目を迎えていることから、給食関係者と食器選定の話合いを行い、平成27年1学期末に給食用食器を購入し、全小中学校が平成27年2学期から新食器での給食を開始しました。</p> | | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | | |
| 新食器の給食実施校 | 20校分 | | | 20校分 | | |
| 指標に対する達成度 | ・新食器の給食実施校：100% | | | 目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 | |
| 外部評価 | <p>【評価、意見等】学校給食は、学校における食育推進の一環を担っていることから、学校給食用の食器は、安全で衛生的なものを使用する必要があります。全小中学校が、平成27年2学期から新しい食器を使用し、給食を活用した食育の推進が一層図れています。</p> <p>【外部評価委員からの主な意見】学校給食は、将来を担う成長期の児童生徒の安全で健康的な食事として、重要な役割を担っています。また、学校給食用の食器は、安全で衛生的なものを使用する必要があります。購入後10年が経過した給食用食器を更新することは妥当です。更新前の食器を防災用として保管することも良い方策と考えます。</p> <p>10年振りの食器の購入には、給食関係者により協議を重ね、他市町の現状も考慮した最高のものと思われます。児童生徒が安心して食を楽しみ、食育につながるものと期待します。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|-----|-----|---------------|-------|
| 事業名 | 学校統合事業（改修） | | | 所管 | 教育総務課 |
| 事業内容 | 平成28年4月の北坂戸小学校と泉小学校との統合に向けて、児童が安心快適に学校生活が送れるよう、統合後に使用する泉小学校の整備を進めました。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 改修工事等実施件数 | 1件 | | | 1件 | |
| 指標に対する達成度 | ・改修工事等実施件数：100% | | | 目標どおり達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的 | できている | 終了 |
| | 【評価、意見等】統合校開校においては、適切な学習環境を確保するために、学校施設の整備は必要不可欠と考えます。また、統合校整備に際しては、様々な調整が必要であり、十分な余裕をもった整備計画を策定する必要があります。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】北坂戸小学校、泉小学校の統合に際し、学校施設を整備し、良好な学習環境を提供することは行政の責務と考えます。国庫補助を有効に活用して、平成28年度中に確実に整備が完了することを期待します。 今後の人口や財政面からも、学校統合は不可欠と思われませんが、適切な学習環境を確保するためには、十分な余裕をもった整備計画をお願いします。 | | | | |

3 教育の機会均等の確保

| | | | | | |
|-----------|--|-----|-----|--------------|-------|
| 事業名 | 入学準備金貸付事業 | | | 所管 | 教育総務課 |
| 事業内容 | 高等学校、大学及び専修学校への入学を希望する方の保護者で、入学準備金の調達が困難な方を対象に、無利子で入学準備金の貸付けを行い、教育の機会均等を図ります。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | |
| 貸付金額 | 1,700,000円 | | | 1,700,000円 | |
| 貸付件数 | 高校4件 大学3件 | | | 高校1件 大学6件 | |
| 指標に対する達成度 | ・貸付金額：100% ・貸付件数：高校・大学合計 100% | | | おおむね達成できました。 | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的 | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】入学希望者の教育を受ける機会を等しく確保するため、今後も継続して貸付事業を実施することが必要と考えます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】入学希望者の教育を受ける機会を等しく確保するためにも、継続して貸付事業を実施することが必要と考えます。 学習支援をするとともに、経済的支援を行うことについて行政の関与により審査を行うことは、本人の負担軽減を考慮すると適切と思われま。 | | | | |

基本計画 文化の振興・保護

施策の方針

1 文化活動の振興

文化施設を拠点とし、芸術文化催事の提供や文化団体の支援など、各種文化事業を推進し、文化団体及び指導者の育成に努めます。

2 文化財の保護

文化財の調査・保存に努め、活用と市民への公開を促進するとともに、郷土に培われた歴史・文化を保護します。

平成27年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 文化財の保護

| 事業名 | 文化財案内板設置事業 | | | 所管 | 社会教育課 | |
|-----------|--|-----|--------|-------------|-------|----|
| 事業内容 | 有形・無形・天然記念物等の文化財について、説明文、写真、図等を使って紹介をする案内板を設置し、文化財等の普及・啓発を図るものです。 | | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | | 27年度実績 | | |
| 設置件数 | 高札型 | 1基 | 複柱式 | 1基 | 擬木型 | 1基 |
| | | | 単柱式 | 1基 | 単柱式 | 1基 |
| 指標に対する達成度 | ・設置件数：67% | | | 達成できませんでした。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 | |
| | 高い | 高い | 効率的である | できていない | 継続 | |
| | 【評価、意見等】本事業は、文化財が市民共有の財産であることに理解を求め、地域の歴史を学習するためのきっかけづくりとして取り組むもので、文化財保護を推進するためには効果的な事業であり、引き続き実施していきたいと考えます。 | | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】案内板の設置は、市内の文化財を、市民はもとより、他の市町の方々に周知、理解していただくためにも必要です。郷土意識の向上及び観光の観点からも、計画的に設置していただくことを望みます。 自分の住んでいる地域の歴史を知ることや実際に訪ねて目で確認することは、とても刺激があり、郷土愛につながると思います。地域資源や文化財の保護にも有効であると思います。健康及び観光部署との連携により、積極的に取り組んでいただきたいと思います。 | | | | | |

| | | | | | |
|------------|---|-----|---------------|-------|-------|
| 事業名 | 歴史民俗資料館改修事業 | | | 所管 | 社会教育課 |
| 事業内容 | 歴史民俗資料館は、建物の内外壁・床・避難階段等の老朽化が進み、バリアフリー化も未整備であり、また、屋外トイレは非衛生的な状況にあり、施設見学者及び職員の安全・衛生上の確保がなされていないことから、調査・設計・改修工事と順を追って、複数年にわたり、改修を行うものです。 | | | | |
| 指標 | 27年度目標 | | 27年度実績 | | |
| エアコン交換修繕工事 | 1件 | | 1件 | | |
| 指標に対する達成度 | ・エアコン交換修繕工事：100% | | 目標どおり達成できました。 | | |
| 自己評価 | 必要性 | 有効性 | 効率性 | 目標達成度 | 方向性 |
| | 高い | 高い | 効率的である | できている | 継続 |
| | 【評価、意見等】平成27年度実施のエアコン交換修繕工事により、職場環境が一部改善され、事務効率の向上がみられました。しかしながら、建物は、木造作りで延べ40年間手付かず（未改修）の状態であり、経年劣化による窓枠等の隙間も著しく、見学者への配慮が欠如している状況です。また、職場環境も健康を害する状態となっています。今後、現在置かれている2機能（資料館・収蔵庫）を損なわぬよう十分検討し、計画立案すべきであると考えます。 | | | | |
| 外部評価 | 【外部評価委員からの主な意見】歴史民俗資料館は、経年劣化が著しい上に、バリアフリー化が未整備であり、トイレも非衛生的であるため、早期の改修が望まれます。 | | | | |

教育委員会会議等の状況

1 教育委員会会議の開催状況

- ・議案数 54件（原案可決54件）
- ・選挙（委員長） 1件
- ・請願 1件（不採択1件）
- ・専決処理 1件

| 開催日 | 内 容 |
|-------------|---|
| 平成27年4月1日 | 坂戸市教育委員会委員長選挙について |
| | 坂戸市教育委員会教育長職務代理者の指定について |
| 平成27年6月1日 | 坂戸市立学校職員の人事評価に関する苦情処理実施要綱の一部を改正する告示について |
| | 坂戸市教育委員会外部評価委員の委嘱について |
| | 坂戸市スポーツ推進審議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市スポーツ推進委員の委嘱について |
| | 坂戸市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| 平成27年6月30日 | 坂戸市社会教育委員の辞職について |
| | 坂戸市社会教育委員の委嘱について |
| | 坂戸市立同和对策集会所運営委員会委員の委嘱について |
| | 坂戸市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市立図書館協議会委員の辞職について |
| | 坂戸市立図書館協議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市教育委員会任期付職員の任用について |
| | 坂戸市教育委員会臨時的任用職員の辞職について |
| 平成27年7月31日 | 平成28年度使用中学校用教科用図書採択について |
| 平成27年8月18日 | 平成26年度一般会計教育費決算について |
| | 平成27年度一般会計教育費補正予算について |
| | 坂戸市教育委員会臨時的任用職員の任用について |
| | 平成26年度教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について |
| 平成27年9月25日 | 平成28年度当初坂戸市立小・中学校教職員人事異動の方針について |
| | 坂戸市スポーツ推進審議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市教育委員会職員の配置換えについて |
| 平成27年11月13日 | 平成27年度一般会計教育費補正予算について |
| | 坂戸市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について |

| | |
|----------------------------|--|
| 平成27年12月14日 | 県費負担教職員の人事に関する内申について |
| 平成28年2月10日 | 平成27年度一般会計教育費補正予算について |
| | 平成28年度一般会計教育費当初予算について |
| | 坂戸市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定について |
| | 坂戸市いじめ問題調査審議会条例の制定について |
| | 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について |
| | 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について |
| | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 坂戸市教育委員会外部評価委員設置規則の制定について |
| | 坂戸市教育委員会外部評価委員設置要綱を廃止する告示について |
| | 平成28年2月22日 |
| 坂戸市立小・中学校学校医等の辞職について | |
| 坂戸市立小・中学校学校医等の委嘱について | |
| 平成28年度当初坂戸市立小・中学校校長の人事について | |
| 平成28年3月28日 | 坂戸市教育委員会事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市教育委員会情報公開条例施行規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市立学校の学校医等の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市立小・中学校県費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市社会教育委員会議規則の一部を改正する規則の制定について |
| | 坂戸市立中学校部活動外部指導員設置要綱の制定について |
| | 平成28年度坂戸市教育行政重点施策について |
| | 坂戸市立小・中学校学校薬剤師の辞職について |
| | 坂戸市立小・中学校学校薬剤師の委嘱について |
| | 坂戸市社会教育指導員の委嘱について |
| | 坂戸市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| | 坂戸市スポーツ推進委員の委嘱について |
| | 坂戸市教育委員会職員の任免について |
| | 坂戸市教育委員会臨時的任用職員の任用について |
| | 坂戸市立教育センター所長(非常勤)の委嘱について |

坂戸市立学校職員の人事評価に関する苦情処理実施要綱の一部を改正する告示について

○請願

| 開催日 | 内 容 |
|------------|------------------------------|
| 平成27年7月31日 | 中学校教科書採択に係る請願について (請願第1号) |

○専決処理

| 専決処理日 | 内 容 |
|------------|---|
| 平成28年2月25日 | 「埼玉県教育委員会の権限に属する事務処理の特例に関する条例」の一部改正に係る意見について (専決第1号) |

2 教育委員会協議会の開催状況

○協議事項及び報告事項

| 開催日 | 内 容 |
|-------------|----------------------------------|
| 平成27年4月20日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 第1回坂戸市総合教育会議について |
| | 平成27年度坂戸市立教育センター教育相談員等について |
| | 「眠りからさめた武人」展の開催結果について |
| | 第14回坂戸市民スポーツフェスティバルについて |
| 平成27年6月1日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成27年度学習支援事業「学力のびのび塾」について |
| | 平成27年度坂戸市学力向上ランドデザインについて |
| | 第2回坂戸市障害者ふれあいスポーツ大会について |
| | 第14回坂戸市民スポーツフェスティバルの報告について |
| | 平成26年度公民館・地域交流センター事業報告書について |
| | 平成27年度公民館・地域交流センター事業計画書、利用団体について |
| 教科用図書採択について | |
| 平成27年6月30日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 第19回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催について |
| | 第28回県民総合体育大会兼第10回坂戸市ペタンク大会について |
| | 坂戸子ども議会の開催について |
| | 6月定例議会一般質問について |
| 平成27年7月22日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| 平成27年7月31日 | 平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について |

| | |
|-------------|--|
| | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 坂戸のまつりについて |
| | 平成27年度坂戸市立教育センター教育相談員等について |
| | 第70回国民体育大会関東ブロック大会（ソフトボール競技：成年男子）について |
| 平成27年8月18日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成28年度当初予算要求に関する実施計画書について |
| | 第15回坂戸市民チャリティマラソンについて |
| | 地区市民体育祭について |
| | 平成27年度埼玉県学力・学習調査正答率一覧について |
| | 第19回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催結果について |
| 平成27年9月25日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 坂戸市立桜小学校校章について |
| | いじめ防止対策推進法に係る基本方針について |
| | 第34回彩の国21世紀郷土かるた県大会について |
| | 公民館・入西地域交流センター文化祭について |
| 平成27年10月19日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| 平成27年10月30日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 地区市民体育祭の結果について |
| | 平成28年坂戸市成人式について |
| | 第1回国分寺市・坂戸市合同企画展「東山道武蔵路を探る一路でつながる古代の国分寺と坂戸」の開催について |
| | 坂戸のまつりについて |
| | 9月定例議会一般質問・答弁概要について |
| | 坂戸市民チャリティマラソンについて |
| | 高麗川ふるさと健康ウォーキングについて |
| | 秋の図書館まつりについて |
| | 第2回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール（2015年度）結果報告について |
| 平成27年11月13日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 坂戸市要保護者及び準要保護者児童生徒就学援助費の支給等に関する要綱の一部改正について |
| | 平成27年度公民館・地域交流センター文化祭の結果について |
| 平成27年12月14日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成28年度埼玉県学力・学習状況調査実施要領について |

| | |
|------------|---|
| | 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の推進について |
| | 第15回坂戸市民チャリティマラソンの結果について |
| | 平成28年坂戸市成人式について |
| 平成28年1月26日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | いじめの現状と学校及び教育委員会の取組について |
| | 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の推進行動計画（案）について |
| | 平成27年度坂戸市立教育センター適応指導教室指導員について |
| | 第1回国分寺市・坂戸市合同企画展開催結果について |
| | 平成28年坂戸市成人式の結果について |
| | 12月定例議会一般質問・答弁概要について |
| 平成28年2月10日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成28年度「学力のびのび塾」の概要について |
| | 坂戸市子ども・子育て支援事業計画＜一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の推進行動計画＞について |
| 平成28年2月22日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成28年度坂戸市教育行政重点施策（案）について |
| | 平成28年度「坂戸市の指導の重点」について |
| | 平成27年度坂戸市立幼稚園卒園式、小・中学校卒業式の日程について |
| | 平成27年度坂戸市立小・中学校卒業式教育委員会告辞について |
| | さかっち読書手帳の配布について |
| 平成28年3月28日 | 坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件 |
| | 平成28年度坂戸市立小・中学校入学式教育委員会のことば及び告辞について |
| | 平成28年度坂戸市立小・中学校入学式の日程及び出席者について |
| | 平成28年度始め式及び辞令交付式について |
| | 坂戸市第3子以降学校給食費補助金交付要綱の制定について |
| | 平成28年度当初坂戸市立小・中学校教職員人事について |
| | 平成28年度新採用教職員並びに転入教職員着任式について |
| | 地域人材を活用した学習支援事業学力のびのび塾実施結果について |
| | 公民館非常勤職員について |
| | 坂戸市子ども読書活動推進計画について |

3 教育委員が構成員として会議、視察研修等に出席した各種連合会、協議会等

- ・埼玉県都市教育長協議会
- ・埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会
- ・埼玉県市町村教育委員会連合会
- ・埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・西部教育事務所管内市町村教育委員会教育長会議
- ・入間地区教育委員会連合会
- ・入間北部教育委員会連絡協議会
- ・入間・比企地区合同教育委員研修会
- ・小学校教育課程地区研究協議会
- ・坂戸市総合教育会議
- ・教科書採択協議会

4 教育委員出席の主な行事等

- ・坂戸市議会（教育長及び委員長）
- ・学校指導訪問
- ・小学校運動会
- ・中学校文化祭
- ・地区体育祭
- ・小中学校音楽祭
- ・小中学校卒業式
- ・年度初め式及び辞令交付式
- ・小中学校入学式
- ・中学校体育祭
- ・公民館文化祭
- ・子ども議会
- ・成人式

◆ 結びに

坂戸市教育委員会では、平成24年度から平成33年度までを計画期間とした第6次坂戸市総合振興計画に基づき、教育の振興に取り組んでまいりました。

今年度、第6次坂戸市総合振興計画の後期に当たる平成29年度からの5年間の基本計画として、本市が取り組むべき基本目標と施策の体系を示した後期基本計画(案)を策定しているところであります。

また、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画である教育振興基本計画の策定を現在進めております。

教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、平成20年度から、坂戸市総合振興計画に掲げられた教育委員会所管の事務事業を対象として実施してまいりました。

今年度の点検評価は、第6次坂戸市総合振興計画前期基本計画の平成27年度の取組を対象といたしました。その結果、全19の施策における各事業が着実に取り組まれていることを確認しました。ここで改めて確認した成果や課題、今後の方向性を基に、今年度の事業を推進してまいります。

中には、進捗状況が良くない指標がありました。改善に努め、目標値の達成を目指してまいります。

坂戸市教育委員会では、「学び合い交流する人づくりのまち」を教育の基本理念として掲げ、子どもから高齢者までの誰もが学び合い、伝統と文化を伝える機会や、交流活動のできる場所づくりを支援してまいります。

最後に、貴重な御意見や御提言をいただきました外部評価委員の皆様、心からお礼申し上げます。